

近江八幡混声合唱团



20周年記念演奏会



2024年4月21日(日)

近江八幡市文化会館大ホー儿

主催：近江八幡混声合唱团

後援：近江八幡市 近江八幡市教育委員会 日牟禮八幡宮 近江八幡市文化協会 近江八幡市音楽連盟

—— 20周年記念演奏会を祝して ——

近江八幡市長 小西 理

「近江八幡混声合唱団20周年記念演奏会」が盛大に開催されますことを、心よりお喜び申し上げます。

平成16年の結成以来、団員の皆様方のご努力によって固い基盤を確立され、多くの先人とともにご尽力された功績によって20年の輝かしい歴史を樹立されましたこと誠にめでとうございます。市民文化祭や市民音楽祭への参加、慰問演奏会を中心とした活動を通して、本市の芸術文化の振興に大きく貢献され、その熱意とたゆまぬご尽力に深く敬意を表しますとともに厚くお礼申し上げます。

本日は、日頃の練習の成果を発揮し、素晴らしいハーモニーを奏でられることで、会場にご参集の皆様も音楽の持つ力と魅力を存分に感じていただけているものと思います。

近江八幡市は、協働による文化芸術創造都市を将来像とし、暮らしのなかに豊かさが感じられる創造的、文化的なまちづくりを目指し、市民が身近に芸術文化に親しむことができる環境づくりに取り組んでいます。今後とも、皆様方の活動を通じて、文化の持つ力により、個性と活力溢れる地域づくりを目指して参りますので、本市の文化振興に更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近江八幡混声合唱団のますますのご発展、並びにご参会の皆さま方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

—— ご挨拶 ——

近江八幡混声合唱団 団長 木村 菖女

本日は、近江八幡混声合唱団20周年記念演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。

当合唱団は、平成16年に「近江八幡に混声合唱団を」と集まった4人でスタートしました。毎週水曜日の練習に加え、定期演奏会開催や、市民文化祭、市民音楽祭、慰問演奏会等への参加、そしてウィーンやフィンランドへの演奏旅行と様々な活動を行ってまいりました。

今日までこのような活動を継続できたのは、大橋久子先生と寺嶋奈緒先生のご熱心なご指導と皆様方の温かいご支援のお陰だと心より感謝申し上げます。

コロナ禍で一時活動休止を余儀なくされる期間があった中、団員一同、この20周年記念演奏会を目標に練習を重ねてまいりました。

本日は、第1部 近江八幡の民話から作られた「白さぎ物語」、第2部「合唱でオペラ・アリア」、第3部「愛と青春の昭和歌謡」をお届けします。団員一同、皆様の心に響きますよう気持ちを込めて歌います。

どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

Program

第1部

近江八幡民話より
混声四部合唱組曲

「向さぎ物語」 作詞：木村 敏子 作曲：吉田 裕子

指揮：大橋 久子 ピアノ：岸本 佳美 パーカッション：中路 友恵 語り：中山 登志子

第2部

混声合唱のためのメドレー

「合唱でオペラ・アリア」 編曲：青木 雅也

楽劇「ニルンベルクのマイスタージンガー」より 前奏曲 R.Wagner 作曲

歌劇「リナルド」より 私を泣かせてください G.Rossi 作詞/G.F.Händel 作曲

歌劇「魔笛」より 胸は怒りに燃えたち 城山 美津子 訳 / W.A.Mozart 作曲

歌劇「椿姫」より 乾杯の歌 城山 美津子 訳 / G.Verdi 作曲

歌劇「トスカ」より 歌に生き 愛に生き 城山 美津子 訳 / G.Puccini 作曲

歌劇「カルメン」より 闘牛士の歌 堀内 敬三 訳 / G.Bizet 作曲

歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ
G.Adami・R.Simoni 作詞 / G.Puccini 作曲

指揮：大橋 久子 ピアノ：寺嶋 奈緒

第3部

「愛と青春の昭和歌謡」

世界は二人のために 山上 路夫 作詞 / いずみ たく 作曲 / 田中 達也 編曲

恋のフーガ
& 恋のバカンス なかにし 礼 作詞 / すぎやま こういち 作曲
& 岩谷 時子 作詞 / 宮川 泰 作曲 / 田中 達也 編曲

銀座の恋の物語 大高 ひさを 作詞 / 鍋木 創 作曲 / 宇田川 安明 編曲

神田川 喜多 条忠 作詞 / 南 こうせつ 作曲 / 石若 雅弥 編曲

津軽海峡・冬景色 阿久 悠 作詞 / 三木 たかし 作曲 / 石若 雅弥 編曲

愛の讃歌 岩谷 時子 作詞 / M.モノ 作曲 / kiminabe 編曲

君といつまでも 岩谷 時子 作詞 / 弾厚作 作曲 / 田中 達也 編曲

時の流れに身をまかせ 荒木 とよひさ 作詞 / 三木 たかし 作曲 / 石若 雅弥 編曲

また逢う日まで 阿久 悠 作詞 / 筒美 京平 作曲 / 石若 雅弥 編曲

指揮：大橋 久子 ピアノ：岸本 佳美 寺嶋 奈緒 パーカッション：中路 友恵

♪ Profile

大橋 久子 (指揮)

滋賀県立石山高等学校を経て、相愛女子大学音楽学部声学科卒業。鈴木操、木川田誠各氏に師事。

1977年渡欧し、モーツァルテウム音楽院にて、アーリン・オージェ氏に師事。

各合唱団を率いて国内で数多くの演奏会で指揮をしているが、アメリカ、オーストラリア、オランダ、ハワイ、サイパンにて「コーラスみずぐき」の、ウィーン(オーストリア)、フィンランドにて「近江八幡混声合唱団」の親善海外公演を指揮した。

現在、あかね児童合唱団、コーラスみずぐき、コーラスよし笛、コーラスレインボー、びわ湖八幡ロータリークラブコーラス同好会「におの声」、近江八幡混声合唱団を指揮。

寺嶋 奈緒 (ピアノ)

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業。ピアノを福留真循、大谷正和、南沢玲子、柿原宗雅各氏に師事。

コーラスみずぐき、びわ湖八幡ロータリークラブコーラス同好会「におの声」、近江八幡混声合唱団等のピアニスト。「コーラスみずぐき」「近江八幡混声合唱団」の親善海外公演のピアニスト。

現在ピアノ教室でピアノ指導の他、ライリッシュオカリナ連盟認定講師として、県内のオカリナ教室でオカリナを指導。

岸本 佳美 (ピアノ)

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、大阪音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業。ピアノを山下啓子、遠山つや、守田信子、伴奏法を塚田佳男の諸氏に師事。

合唱の伴奏をはじめ、声楽・器楽の伴奏者として幅広く活動している。

現在、廿声合唱栗東カレンジュラ、栗東少年少女合唱団、フラワーコーラス、滋賀銀行経済文化センター第九合唱団等のピアニスト。

中路 友恵 (パーカッション)

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、同志社女子大学学芸学部音楽学科打楽器専攻卒業。同大学特別専修課程修了。第3回KOBÉ国際音楽コンクールにおいて特別賞受賞。平成18年度平和堂財団芸術奨励賞受賞。京都芸術祭において毎日新聞社賞受賞。令和2年度滋賀県文化奨励賞受賞。

現在、マリンバ・打楽器奏者として関西を中心に、ソロ、アンサンブル、他のジャンルとの共演等幅広く活動している。又、吹奏楽指導や打楽器を使った音楽ワークショップ、後進の指導にも力を入れている。

滋賀県立石山高等学校音楽科、相愛大学音楽学部、各非常勤講師。

中山 登志子 (語り)

滋賀県立石山高等学校音楽科を経て、相愛大学音楽学部フルート専攻卒業。演奏活動の他、ナレーターや司会としても活動を行う。2008年音楽劇「大津京逍遙」で巫女役として語りが好評を博し、同年「大友皇子と壬申の乱」、'09年「レクイエム大津京語」、'17年「夕波千鳥」、'21年「光うつるひ」等その後語り続ける。他にも室内管弦楽による組曲「甲賀の四季」、オペラ「子供と魔法」、13の役演じるミュージカル「猫のミミは心配性」等のナレーターを務める。また自作のCD付き絵本「猫・ねこ・ネコ」を湖笛の会より発刊。

フルートオーケストラ湖笛の会代表、日本フルート協会代議員。

乃村 健一（演出）

京都市立芸術大学美術科彫刻専攻修了。舞台演出については演出家・松本重孝に師事。

これまで各種公演の舞台監督、美術、演出部スタッフをつとめ、演出としても多くの公演に参加。

演出作品に「人間の声」「消えた男の日記」「子どもと魔法」「ラ・ボエーム」「木の匙」「オリー伯爵」「サンドリヨン」「魔笛」など多散。

2023年びわ湖ホール「フィガロの結婚」（松本重孝演出）では美術を担当するなど、様々な作品を手がけている。

京都市立芸術大学オペラクラス非常勤講師（美術・技術・舞台監督を担当）、大阪音楽大学（舞台研究）非常勤講師。





近江八幡民話より 混声四部合唱組曲 「白さぎ物語」

混声四部合唱組曲「白さぎ物語」は、近江八幡に伝わる民話「白鷺の恩返し」から生まれました。

大昔、近江の湖に、八幡山は大島、長命寺山は奥津島と呼ばれて沖島と並んで三つ、島の影を落としていました。その大島の山裾には日牟禮の神さま大国主命の社（やしろ）がありました。

ある冬枯れの粉雪舞う朝、山裾の砂浜波打ち際を一羽の‘白さぎ’が翼を血に染め、寒さにふるえ息絶え絶えにさまよっていました。そこへ大国主命が通りかかり、争いに傷ついたと訴える‘白さぎ’を大きな袋に入れ、沖島へと連れて行かれました。沖島の山あいには、こんこんと湯の湧き出る湯谷（やんたん）という泉があったのです。

冬の間あたたかい湯にひたって‘白さぎ’は傷も癒え、すっかり元気をとり戻していました。

ある夜更け、南の空のあまりの明るさに目覚めて‘白さぎ’は見ました。

「炎が赤く噴きあがって燃えている。あれは日牟禮の森だ。大国主命のお社だ。」すぐさま‘白さぎ’は胸も腹も裂けよとばかりに水を呑み飛び立ち、炎へ水を吐きかけます。くり返し、くり返し吞んでは吐き出す水はやがて血に染まり、その時、‘白さぎ’の必死の願いが通じたのか、突然の驟雨（しゅうう・急に降り出し、間もなく止んでしまう雨）激しい雨が森に社に降り注いだのです。炎は静まりました。社の屋根は焼け落ちましたが。

大島の山裾砂浜に、やわらかい陽を浴びて‘白さぎ’は命果てていました。大国主命が通りかかり声をかけて下さったその場所に……。



「合唱でオペラ・アリア」

オペラ。それは音楽によって作られるドラマです。

そして、そのほとんどが“愛の物語”と言っても過言ではないでしょう。

♪ 楽劇「ニユルンベルクのマイスタージンガー」より 前奏曲

今日はヨハネ祭の歌合戦の日。“歌”の力を使って、若いエヴァとワルターの愛を成就させようとする、靴職人で歌名人のハンス・ザックス。でも、彼のほんとうの想いは……。名高い前奏曲の旋律に乗せて、『合唱でオペラ・アリア』の開幕です。

♪ 歌劇「リナルド」より（アルミナーレのアリア） 私を泣かせてください

十字軍の勇士リナルドと將軍の娘アルミナーレは恋仲。敵方に連れ去られたアルミナーレが敵の王に求愛されてもお、リナルドへの貞節を歌うのがこのアリアです。自らも敵の手に落ちてしまうリナルド。さて恋人2人の運命は如何に……。



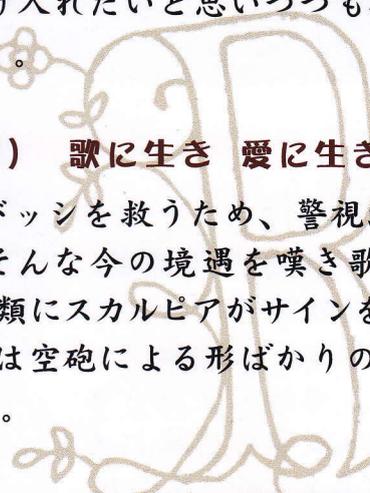
♪ 歌劇「魔笛」より（夜の女王のアリア） 胸は怒りに燃えたち

童話を元とする「魔笛」には様々なキャラクターの人物(?)が登場します。そして、皆それぞれに“愛”を求めています。夜の世界を支配する“夜の女王”が娘のパミーナに、宿敵の悪漢ザラストロを殺すよう命令するのがこのアリアです。しかし、本当の悪者はどうやら・・・。



♪ 歌劇「椿姫」より（アルフレードとヴィオレッタの二重唱） 乾杯の歌

ヴィオレッタはパリの夜の華やかな世界に生きる女性。純朴な青年アルフレードとの出会いの場で2人が歌うのが、この二重唱です。彼から彼女への愛の告白。とりまきの男たちとは全く違うアルフレードを受け入れたいと思いつつも、やはり快樂に生きようと思ひ直すヴィオレッタでしたが・・・。



♪ 歌劇「トスカ」より（トスカのアリア） 歌に生き 愛に生き

政治犯として捕えられた恋人カヴァラドッシを救うため、警視総監スカルピアの欲望を受け入れる決意をする歌姫トスカ。そんな今の境遇を嘆き歌うのがこのアリアです。交換条件として、2人に自由を与える書類にスカルピアがサインをするやいなや、トスカは彼の胸にナイフを突き立てます。あとは空砲による形ばかりのカヴァラドッシの銃殺刑を待つばかり、のはずでしたが・・・。

♪ 歌劇「カルメン」より（エスカミーリョのアリア） 闘牛士の歌

花形闘牛士のエスカミーリョが、酒場で人々に囲まれて武勇伝を歌うのがこのアリアです。居合わせたカルメンに心惹かれるエスカミーリョ。時が経ち、2人は闘牛場で愛を誓い合うまでに。しかし物かげにはカルメンに未練たっぷりの元恋人、ドン・ホセの思いつめた姿が・・・。

♪ 歌劇「トゥーランドット」より（カラフのアリア） 誰も寝てはならぬ

結婚承諾の条件である“謎解き”をされたにもかかわらず、若者の求婚を拒むトゥーランドット姫。ならば逆に明朝までに私の名を言い当てよ、できなければ私の妻となるのだ、と若者。彼の名がわかるまでは誰も寝てはならぬ、という姫による人々へのお触れ。街の喧騒をよそに若者、実はダッタン王子カラフが歌うのがこのアリアです。カラフのお付きの娘リュウが捕えられます。ひそかにカラフに思いを寄せるリュウのとった行動は・・・。

八幡20年間のあゆみ

近江八幡混声合唱団は「合唱を通じ音楽的教養と技術を研鑽し、地域社会の文化の向上に寄与する」を目標に、20年間種々の活動を行ってまいりました。市民音楽祭や文化祭への出演、また病院でのミニコンサート開催や市・各種団体の行事への賛助出演等の地域活動の他、日頃の練習の成果をファミリーコンサートや国内外の演奏会で披露してきました。



《近江八幡混声合唱団結成》

市内にはいくつかの女声合唱グループはありましたが、混声合唱団はありませんでした。2004年4月28日、4人の発起人の呼びかけにより32名の団員が集まり近江八幡混声合唱団として発足しました。そして1年間の練習の成果として、2005年4月25日酒遊館にて「第1回ファミリーコンサート」を開催しました。

《5周年記念演奏会》

結成5周年を記念して、2010年5月23日安土文芸セナリヨで演奏会を開催、荘厳なパイプオルガンの調べにのせてミサ曲などを披露しました。大橋先生の演出の下、老体に鞭打って歌い動き回り、満員の観客の皆様にも喜ばれて楽しい記念演奏会になりました。



《ウィーン演奏旅行の思い出》

オーストリア・ウィーンに在住の団員の娘さんのお世話で、“音楽の都ウィーン”への演奏旅行が2011年6月に実現。総勢41名が参加しました。駐ウィーン日本大使館の大使もご挨拶・ご観覧頂き、ウィーンの地元合唱団との合同ステージでは「荒城の月」を日本語で、「野ばら」をドイツ語で歌い、オーストリアと日本の友好を深めました。



近江八幡混声 ウィーン・アコード合唱団 交流コンサート

《10周年記念演奏会》

結成10周年を記念して2014年5月18日近江八幡市文化会館にて演奏会を開催。この演奏会では弦楽合奏とのコラボや、江州音頭を混声四部合唱組曲に作曲をお願いし初演をしたり、かなり意欲的なプログラムでした。初めての文化会館大ホールでしたが、会場一杯のお客様に来ていただきました。



平成26年5月18日 近江八幡市文化会館大ホール

《楽しかったフィンランド演奏旅行》



この演奏旅行もウィーン演奏旅行と同様、フィンランド在住の団員の娘さんのお世手で2016年7月に実現。美しい湖のほとりの教会での演奏会。お客様が集まってくださるのか不安でしたが、演奏会当日、教会が一杯になるほどのお客様に来ていただき感激。最後にアンコールでシベリウス「フィンランディア」を歌い始めると、お客様全員が起立し、一緒に歌い出したことに感動しました。

《15周年記念演奏会》

結成15周年を記念して2019年5月19日近江八幡市文化会館大ホールにて演奏会を開催。多くの団員が一度は歌いたいと思っていた合唱曲の名曲「水のいのち」をこの演奏会で歌うことができました。この演奏会も10周年と同様、会場一杯のお客様に来ていただき感激でした。

★近江八幡市合唱団 15周年記念演奏会★

混声合唱組曲「水のいのち」



2019年5月19日 近江八幡市文化会館大ホール

出演者紹介



岡田 なを子
木村 絳々
多田羅 敏子
福森 恵子

片山 祐里
嶋影 淳子
名倉 恵美子
増田 ひとみ

鎌田 弘美
嵐本 正子
平内 幸子
眞野 美和子

木村 典子
○高橋 茜
福澤 義巳
村田 みよ子

犬井 道子
小泉 和世
西川 洋子

岩本 清美
佐田 さよ子
濱田 千春

○垣見 亜彩子
志村 美智代
吉村 芳子

久保 紀子
立花 初美



柏淵 隆
細井 昇

○小西 理
○山田 恒雄

椎原 英勲
山本 康弘

築山 雅彦

小澤 健二
濱野 賀朗

古閑 友士
村西 耕爾

佐伯 徹

西澤 道明



○印：賛助出演者

